

一般質問(要旨)



田口 伸一 議員  
いばらき自民党  
鹿嶋市選出  
分割方式

コロナ後を見据えて本県の強みを発揮する企業誘致策

議員 コロナ禍による生産拠点の見直しや脱炭素化により、産業構造に大きな変化が見られる中、本県の強みを生かし、新たな切り口での企業誘致を期待するが所見は、知事 国の脱炭素化への企業支援の動きを捉え、次世代自動車分野やその取引関係にあるIT企業などを対象に研究開発拠点などへの設備投資意向調査を実施し数社と具体的に交渉を進めている。戦略的な誘致を一層加速し、一社でも多くの企業誘致に結び付けていく。



外塚 潔 議員  
いばらき自民党  
かすみがうら市選出  
一括方式

霞ヶ浦環境科学センターの役割とチャレンジ

議員 今後の事業検討に向け、研究成果の活用と発信、楽しみ、稼げるサービスも含めたマネジメント、他との連携体制の構築を提言する。センターの未来に向けた役割、チャレンジについて所見は、県民生活環境部長 生態系サービスを次世代に引き継ぐ精神を地域に浸透させる役割がある。イベントを通じ、歴史、民俗、農林漁業、観光などの分野と連携するほか、県自然博物館と連携し、そのノウハウを活用した取り組みを進める。

オリンピック会場地における感染防止対策

議員 茨城カシマスタジアムにおいて東京2020オリンピックのサッカー競技が開催予定だが、オリンピック会場地での感染防止のため、県としてどう取り組むのか。県民生活環境部長 国などによる中間整理を踏まえ対策が講じられるが、県は陽性者発生の場合も対策などを行う。担当部局や地元市町による体制を整備し取り組み(ほかに、高齢者・障害者施設における感染防止対策の充実・強化、鹿嶋海岸の侵食対策なども質問)



東京五輪サッカー競技が開催予定の茨城カシマスタジアム(鹿嶋市)

国道三五号急カーブ区間の緩和対策の進捗と今後の見通し

議員 かすみがうら市戸崎地区のカーブ区間は、見通しが悪く、死亡事故を含めた交通事故が絶えない。早急に急カーブの緩和対策に取り組み、事故の起きにくい道路へと改善してほしいが、所見は、土木部長 応急対策として、路面標示などを設置した。道路の線形改良にも着手しており、現在、用地取得手続を進めている。早期の工事着手、完了を目指していく。

(ほかに、安心して出産・子育てできる医療体制と支援の充実、恋瀬川の河川改修の進捗・見通しなども質問)



設立15年目を迎えた霞ヶ浦環境科学センター



水柿 一俊 議員  
いばらき自民党  
筑西市選出  
一括方式

稲作農家の経営安定対策

議員 米余りから価格低下が予想される。国が新たに設けた都道府県連携型助成を活用し作付転換を促すなど、需要に応じた米の生産を図るべきだが、どう取り組むか。農林水産部長 飼料用米への作付転換を中心に推進する。その際、都道府県連携型助成の活用は考えていないものの、国の交付金を効果的に活用し、他県より手厚い助成を行うなどして農家所得の安定を図る。その上で園芸品目など高収益作物への転換も推進していく。



岡田 拓也 議員  
いばらき自民党  
高萩市・北茨城市選出  
一括方式

知事の1期4年間ににおける県北振興の総括

議員 県北地域の振興は、どうテーマを設定するか、どの手法を用いるかを捉えて集中的な投資を行い持続可能な取り組みを推進すべきである。県北振興のこれまでの評価とこれからの姿について伺う。

知事 市町の取り組みを支援した結果、高萩市ではグランピングなどの施設を整備し、地域主体の街づくりを促進した。さらなる取り組みとして地域課題解決に取り組む起業型地域おこし協力隊を増やし、活動強化と定着の促進を図る。

移動式オービス\*の効果的な運用

議員 速度違反をした車両を検知し撮影する機材、移動式オービスが茨城県警に導入された。期待する効果と今後の運用は、警察本部長 狭い通学路や生活道路でも取り締まりが実施でき、通行車両の速度抑制による交通事故の防止や、被害軽減が期待される。交通事故発生状況や住民の要望を把握し、より効果的に運用していく。

(ほかに、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種、県道筑西つくば線バイパスなども質問)



稲作農家の経営安定を

学校における感染症対策と教職員確保

議員 優秀な人材の確保のため、他県からも本県で教員を目指したいと思えるような取り組みを実施すべきと考える。学校の感染症対策と教職員確保について伺う。教育長 令和三年度も継続した学校サポーターの配置に向け、人材の確保に努める。教職員の志願者数確保のため、他県と同じ日程で実施していた一次試験を前倒しして、試験会場も東京などを加える。

(ほかに、森林資源の循環利用の推進、県道日立いわき線の整備進捗状況なども質問)



県北振興の持続可能な取り組みを(はぎビレッジ:高萩市)

「茨城県議会改革推進会議」を設置しました

県議会がこれまで以上に県勢発展をリードしていくためには、「県民の目線」と「納税者の視点」に立ち、従来の慣例にとらわれないこととなく進取の気鋭で自ら改革を進めていく必要があることから、三月二十四日の本会議において議長の諮問機関として「茨城県議会改革推進会議」を設置しました。

この会議では、「茨城県議会基本条例の見直し」「議会審議・委員会審査の充実」「ICT化の推進」「県議会会期の在り方」「県議選の投票率向上」をテーマに検討を行います。構成する委員十一名は次のとおりです。

- |      |       |    |        |
|------|-------|----|--------|
| 座長   | 小川 一成 | 委員 | 長谷川 重幸 |
| 座長代理 | 館 静馬  | 委員 | 齋藤 英彰  |
| 委員   | 西條 昌良 | 委員 | 高崎 進   |
| 委員   | 白田 信夫 | 委員 | 江尻 加那  |
| 委員   | 山岡 恒夫 | 委員 | 江尻 加那  |
| 委員   | 中村 修  | 委員 | 玉造 順一  |



定例会の議場の様子

ことば ※【移動式オービス】…可搬式速度違反自動取締装置、いわゆる移動式オービスは、走行する車両の速度を測定し、一定の速度以上で走行する車両を速度違反車両として自動で写真撮影し記録化する運搬可能な装置のことをいう。